

目次

序	川岸村長	金原惠重郎
序	長野県知事	林虎雄
一序	前衆議院議員	宮沢胤勇
第一編 川岸村の風土		一
第一章 川岸村の土地		一
	天童川東岸の火山岩山地・天童川西岸の古生層山地・天童川西岸の火山岩山地・天童川沿岸の低地帯	
第二章 川岸村の気候		二
	川岸村の気候一般・指標植物による川岸村の常風・川岸村の日照状況・川岸村の灌溉水温	
第三章 川岸村の人間生活		三五
	川岸村集落の生成とその機構・川岸村集落の工場地化・製糸業不況後の川岸村の動向・川岸村経済的生活の現況	
第二編 先史原史時代		六七
第一章 川岸村周辺に於ける先史時代土器の研究		七〇

縄文式土器・彌生式土器

第二章 川岸村の先史時代遺跡…………… 四

遺跡の性質・中ノ沢遺跡・広畑遺跡・長塚遺跡・後田原遺跡・峯畑遺跡・橋原遺跡

第三章 川岸村の先史時代遺物…………… 一〇九

遺物研究の目標・石器・土製品

第四章 先史時代の川岸村…………… 一二九

川岸村の地理的環境と遺跡の分布・先史時代文化の開花と発展・農耕文化の姿・先史時代の終末

第五章 原史時代の川岸村…………… 一五二

原史時代の歴史的位置・原史時代の集落遺跡・川岸村の古墳・窯址・成長する村の姿

追補 駒沢区原沢遺跡出土の土器

第三編 上代史…………… 一八三

第一章 神氏族と川岸村…………… 一八三

第二章 金刺氏族と川岸村…………… 一九三

第三章 諏訪上下社の関係…………… 二〇〇

第四章	上代の狩獵……………	二〇九
第五章	上代の漁撈……………	二二一
第六章	上代の農業……………	二二九
第七章	律令制と川岸村の郡郷歸屬……………	二四一
第八章	牧馬と川岸村……………	二五〇
第九章	武士の興起と莊園諏訪上下社……………	二五九
第十章	仏教の弘通と川岸村……………	二七〇

第四編 中世史……………二七九

第一章	鎌倉時代の諏訪……………	二七九
第二章	中世の岡谷辰野牧……………	二九二
第三章	小坂氏と川岸村……………	二九八
第四章	南北朝室町時代の諏訪……………	三〇七
第五章	戦国時代の諏訪……………	三二五
第六章	武田氏の諏訪征服とその占領政策(一)……………	三三五

- 第七章 武田氏の諏訪征服とその占領政策(二)……………三三八
- 第八章 川岸村の諏訪神社神役及神田……………三五二
- 第九章 川岸村の諏訪神社社人……………三六〇
- 第十章 川岸村の地頭及地土……………三七二
- 第十一章 織豊時代の諏訪……………三八六
- 第十二章 初期藩政と川岸村……………三九四

第五編 近世史(一)……………四二三

近世における川岸村の概観

- 第一章 町の政治は如何に行われていたか……………四二三

支配体制・統治の基本方針

- 第二章 村は如何なる統制を受けていたか……………四四七

身分制度・土地と農民の結合及び土地処分・生活上の諸制限・治安維持に関する取締

- 第三章 村の生活は如何なる状態であつたか……………四六四

宗門帳による考察・村定検約帳から見た農民生活・備荒貯蓄と救荒制度

第六編 近世史(二) 五〇九

第一章 近世村落の構造—村における土地と人— 五〇九

第二章 土地開發の変遷 五二二

沢(笹)の発達・旧田村落と新田村落・天竜河畔における土地開發(その一)・同(その二)・同(その三)

第三章 諏訪藩の檢地と農民 五二五

檢地はどのように行われていたか・諏訪藩の檢地政策・丈量について・檢見と年貢・地積について

第四章 村の農民層の問題 五三七

政治面よりみたる村の身分的關係・村の家族制度(その一)・同(その二)・農民層分解の諸形態

第五章 近世川岸農村の社会的性格 五八二

村の小作制度について・畝取收穫量・本村における農業技術の一端・山と入会について

後記